

県民の森 園内紹介 ⑥ 昭和の森 2 みずばしょう園周辺

「みずばしょう園」は、園内の東から南側に位置する「昭和の森」の一角です。七滝登山口へ向かう道路の右側に見下ろせる場所にあります。雪融けとともに現れるミズバショウは、八幡平に春の訪れを告げる風物詩で、多くの人々がその姿を愛でに訪れます。湿地のほとりに植樹されたノスモモは、春に木全体に白い花をつけ、木陰にあるテーブルとイスは特等席となっています。

ミズバショウの湿地の橋を渡ると、その奥には、カエデ類やアカガシワ、カツラなど色鮮やかに紅葉する木々や、様々な針葉樹が植樹されています。なかでも、北米産のアメリカハナノキは、春は真紅の花、秋は黄・橙・赤と変化する美しい紅葉を見せてくれます。また、カツラの落ち葉から、甘い香りが一帯に漂い、輝くような黄葉とともに楽しむことができます。

湿地の近くに一年中湯気が出ている場所があります。これは八幡平温泉郷で利用している松川地熱発電所からの温泉の余剰分、本物の温泉です。



【ミズバショウ】白い花びらに見えるのは仏炎包（ぶつえんほう）と称する葉が変化したもの。中央の円錐状のものが花です。5-6月ごろに熟す実はツキノワグマの大好物です。葉は大きく成長して、夏ごろには1m以上になります。2021年4月3日



雪融けと共に咲き始めるミズバショウ。八幡平のなかでは、最も早くその姿が見られます。春を告げる美しい風景です。2021年3月24日



アメリカハナノキ雄花 2021年5月2日



アカガシワ紅葉 2020年10月28日



カツラ黄葉 2020年10月22日



ミズバショウ湿地前にあるノスモモ。枝一杯に白い花をつけます。2021年5月15日



入口にあるツノハシバミの実。ヘーゼルナッツの仲間です。2021年9月1日



珍しい北米原産のマツ、バンクスマツの球果が見られます。2021年4月7日